

BUILDER ブートによるドライブ文字 消失時の復旧手順書 第一版

本手順書は、BUILDER ブートによりデータディスクのドライブ文字が
消失したときの復旧手順について記載しています。

第1版 2009年4月

【背景】

モジュール#0をプライマリとして、EXPRESSBUILDERよりブート後OS Installationを選択した際、その後モジュール#1をプライマリとして起動するとDドライブ等のデータパーティションのドライブ文字が消失する現象が発生します。

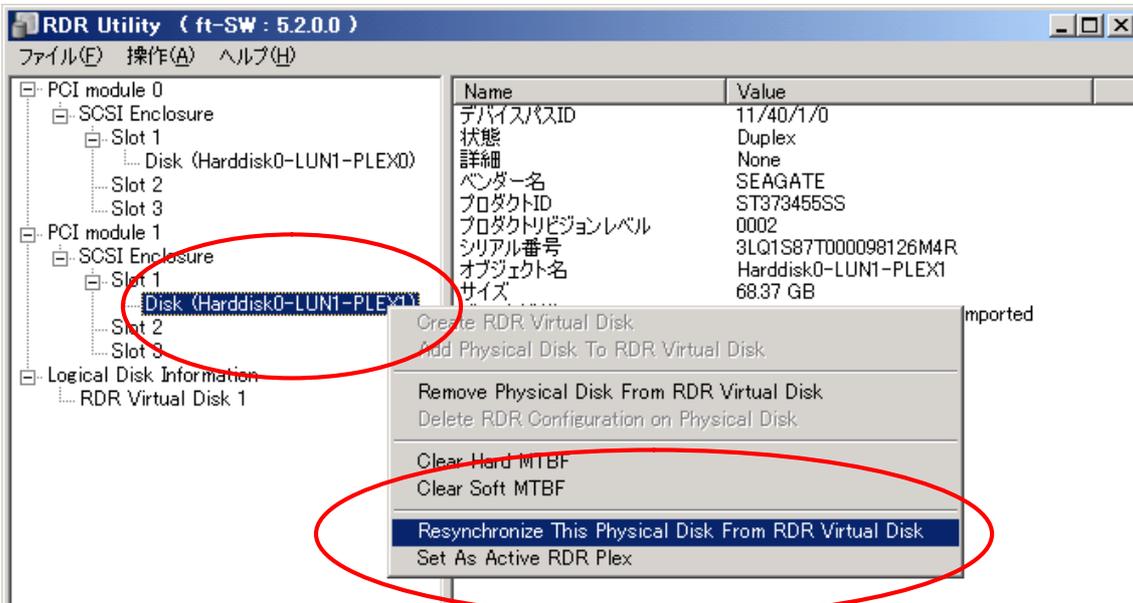
モジュール#0をプライマリとして記載していますが、モジュール#1がプライマリの場合には読み替えていただけるようお願いします。

【復旧手順】

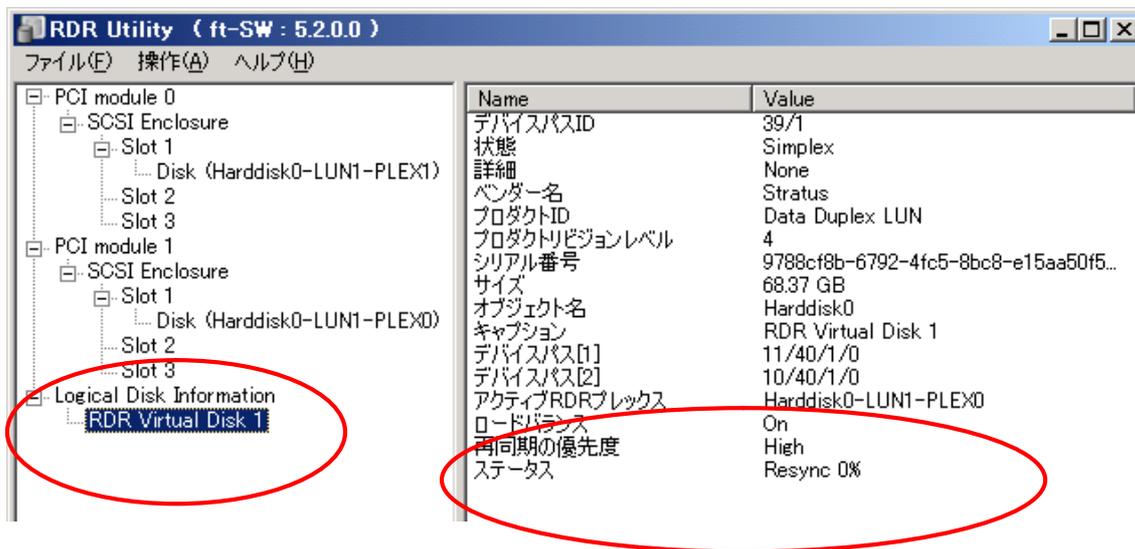
本手順書は、モジュール#0からEXPRESSBUILDERブートし、OS Installationの選択後、OSインストールを行わずにFTサーバの再起動を行なった環境を想定しています。またOS Installation選択後の再起動において、WDT発生によりプライマリモジュールの入れ替わりが発生することがあります。その際の復旧手順について別々に記載します。

[EXPRESSBUILDERブート後、モジュール#0より起動]

1. 現在ドライブ文字は削除されていませんが、モジュール#1をプライマリとして起動することで現象が発生します。そのため、モジュール#0のディスクを元にモジュール#1のディスクへRDRより再ミラーを行ないます。RDR Utility起動後、PCI module 1 - slot1 - Disk (Harddisk0-LUN1-PLEX2)を右クリックし、“Resynchronize This Physical Disk From RDR Virtual Disk”を実行してください。

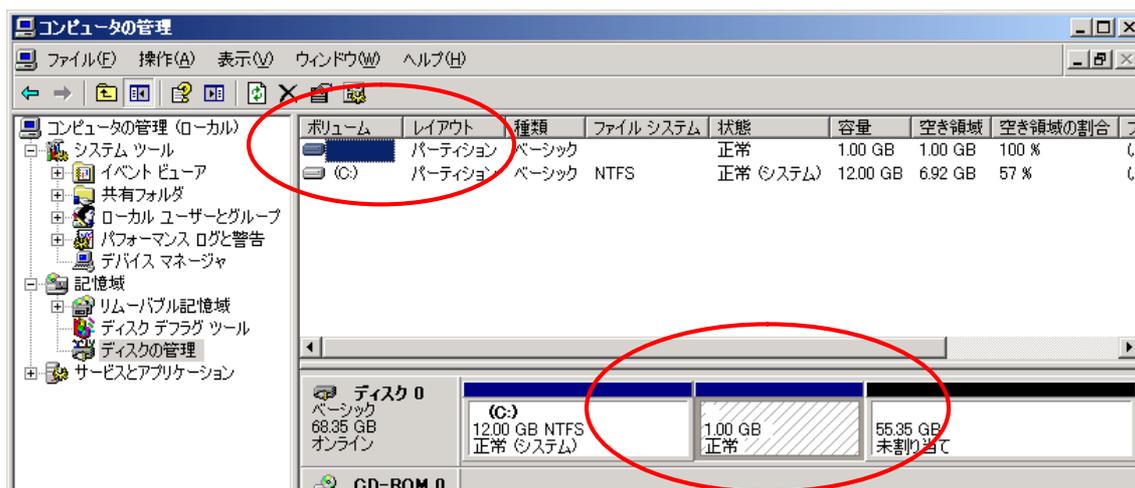


2. ディスクの再同期が始まります。Logical Disk Information – RDR Virtual Disk %1 より再同期が行なわれていることを確認してください。同期処理の進行状況は、左画面の“RDR Virtual Disk %1”をクリックすることで、右画面に表示される”ステータス”の項目から確認できます。

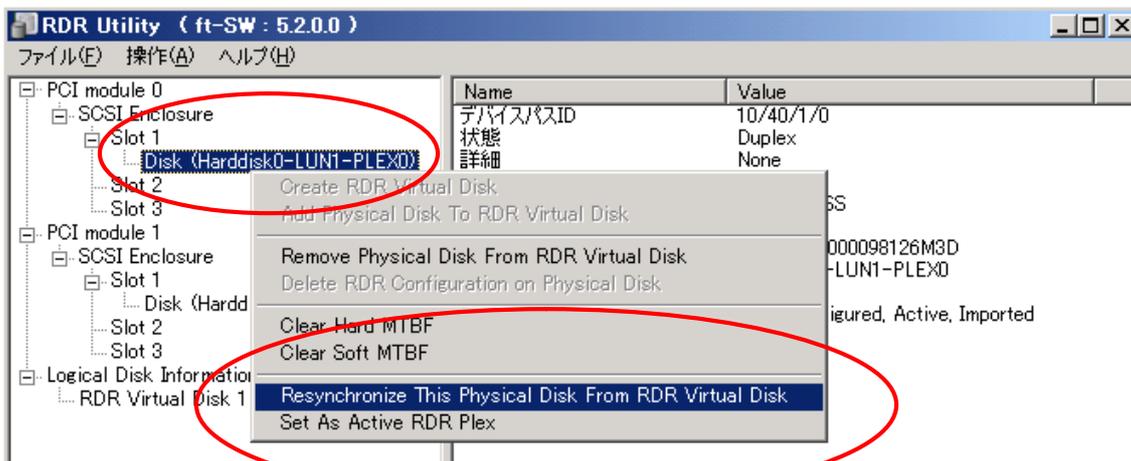


[EXPRESSBUILDER ブート後、モジュール # 1 より起動]

1. コンピュータの管理 - ディスクの管理画面よりドライブ文字を再割り当てします。



2. モジュール#1側のドライブ文字を割り当てることでモジュール#0側のドライブ文字が消失する現象が発生します。そのため、モジュール#1のディスクを元にモジュール#0のディスクへRDRより再ミラーを行いません。RDR Utility起動後、PCI module 0 - slot1 - Disk (Harddisk0-LUN1-PLEX0) を右クリックし、“Resynchronize This Physical Disk From RDR Virtual Disk”を実行してください。



3. ディスクの再同期が始まります。Logical Disk Information - RDR Virtual Disk %1より再同期が行なわれていることを確認してください。同期処理の進行状況は、左画面の“RDR Virtual Disk %1”をクリックすることで、右画面に表示される”ステータス”の項目から確認できます。

